

シンポジウム「これからのJR日田彦山線沿線地域を考える」

2月12日、本県議会議員をはじめ九州の政財界の有志を会員とする「九州の自立を考える会」(会長：藏内勇夫議員)主催のシンポジウム「これからのJR日田彦山線沿線地域を考える」が福岡市内で開催されました。

九州の自立を考える会は、平成29年7月の九州北部豪雨災害以来不通となっているJR日田彦山線の早期復旧と経営安定化に向けた地域振興の取り組みを支援し、「日田彦山線沿線地域振興基本構想」を政策提言していました。その結果、沿線地域の振興基金(10億円)が設置され、専用道区間を大幅に延伸したBRT方式による復旧方法も決定したことから、いよいよ、この地域をコロナ後の新しい社会システムを踏まえた観光振興のモデル地区とすることなど、具体的な地域振興策を探るために開催されたのが、今回のシンポジウムです。



藏内勇夫会長



木下敏之教授

開会にあたり、主催者の藏内勇夫会長から、「多くの方から日田彦山線問題が解決してよかったと言われる。ありがたいが、解決は一切していない。振興策を今からやる体制ができたばかりであり、この地域の振興は今日がスタートである」との挨拶がありました。続いて、来賓を代表し、吉松源昭議長からは「災害からの復旧復興は、単に災害前の状態に戻すだけではなく、時代の動向を踏まえ、より良い形での地域振興につなげていくことが重要。県議会としても、長期的にこの地域の振興に取り組んでいく」との挨拶、知事職務代理者の服部誠太郎副知事(当時)からは「日田彦山線問題については九州の自立を考える会の皆様にご尽力をいただき、東峰村、添田町の皆様に断腸の思いでBRTによる復旧を受け入れていただいたことに深く感謝する。今後、ご提案いただいた基本構想を基に地域振興計画を策定し、持続的に発展する地域づくりを目指していく」との挨拶がありました。



吉松源昭議長



知事職務代理者 服部誠太郎副知事(当時)

また、福岡大学経済学部の木下敏之教授による「コロナを利用する地域振興」をテーマとした基調講演では、コロナ禍の今、これを絶好の好機として首都圏からの転出者を受入れるためには効果的な情報発信が必要であるが、九州各県バラバラでは届かないので、一体となって「九州に帰っておいで」キャンペーンを打つべきだとの提案がありました。また、ウイルスの感染拡大で免疫力を上げる薬草が世界的にブームとなり漢方薬の原料が不足していることや、SDGsの潮流に乗り、先進国で「木造ハイブリッド建築」(骨組は鉄骨、壁と床は木材)が主流となっていることなど、薬草栽培に適し、木材の一大生産地でもある九州の山間地の産業振興策によって有望な最新の情報提供がありました。

また、筑後船小屋から佐賀空港を通る新たな九州新幹線長崎ルートの提案や、福岡県と福岡市が取り組む国際金融都市構想に関して、実現に向けた課題の提示とともに福岡県が推進する「ワンヘルス」の実践が感染症の防疫体制に取り組んでいるという安心感を世界に与え、企業誘致の際の非常に大きな材料になるといった話もあり、日田彦山線沿線地域だけではなく、福岡県や九州の成長戦略にとっても大きな示唆が得られました。

続いて行われた、木下教授をコーディネーターとした「JR日田彦山線沿線地域の未来を語ろう」をテーマとする座談会では、まず、九州の自立を考える会のプロジェクトチーム「日田彦山線復旧問題対策協議会」の座長で同会理事の松本國寛議員から、「日田彦山線沿線地域振興基本構想」には、BRTが地域の皆さんに親しまれ、「みんなの夢をのせて」走ってほしいとの思いを込めたこと、運行収支改善のためには定住人口と関係人口の拡大が必要であり、そのためには「高齢者でも安心して暮らせる環境づくり」や「リモートワークのための環境整備、特に5Gが活用できる環境を県でつくること」、「名水や英彦山など地域資源を活用した統一ブランドづくり」を進めるべき等の発言がありました。



日田彦山線沿線地域振興基本構想図



江口勝副知事



松本國寛理事



澁谷博昭町長



寺西明男町長

次に、東峰村の澁谷博昭町長から、「沿線の景観を活かした観光振興」、「観光客が集まる小石原地区(小石原焼)から棚田が広がる竹地区等への周遊ルートの整備」といった東峰村の振興プランの報告が、また、添田町の寺西明男町長から、「パーク・アンド・ライドの添田駅」、「健康づくりを楽しめる歓遊舎ひこさん駅と豊前榎田駅」、「英彦山神宮等への回遊観光の起点となる彦山駅」という3つのエリア整備を核とする地域振興プランの報告があり、福岡県の江口勝副知事からは、九州の自立を考える会の基本構想に基づき、「地域の魅力を活かした地域振興・観光振興」、「地域資源を活かした産業新興」、「住みたい地域の魅力づくり」の3つを柱として県で策定を進めていた「福岡県日田彦山線沿線地域振興計画」(注)の概要について説明がありました。そして最後は、木下教授が「10年後、20年後に、東峰村や添田町の計画が実現し、素晴らしい地域になることを願っています」とまとめられ、盛会のうちにシンポジウムは終了しました。

(注)福岡県日田彦山線沿線地域振興計画は、その後、添田町及び東峰村との合意のもと、本年2月17日に策定、公表されました。

※シンポジウムの模様(動画)は、九州の自立を考える会のホームページでご覧いただけます⇒<http://www.kyushu-jiritsu.jp/reports/detail/101>

編集・発行 福岡県議会

〒812-8574 福岡市博多区東公園7-1 電話 092-643-3823 092-643-3825 FAX 092-643-3825 E-mail gchosa2@pref.fukuoka.lg.jp

議会事務局の組織と問い合わせ先

総務課

- 議会の庶務、経理 ■ 本会議傍聴
- 議会棟見学 など
- TEL 092-643-3823
- FAX 092-643-3825
- E-mail gsomu@pref.fukuoka.lg.jp

議事課

- 本会議、委員会などの運営
- 請願、陳情 ■ 会議録作成 など
- TEL 092-643-3827
- FAX 092-643-3825
- E-mail ggiji@pref.fukuoka.lg.jp

調査課

- 議案、行政施策、法令等の調査
- 議会の広報 ■ 議長会議 など
- TEL 092-643-3832
- FAX 092-643-3825
- E-mail gchosa2@pref.fukuoka.lg.jp

政策企画支援室

- 議員提出条例の制定・改廃
- 政策提言に係る企画支援 など
- TEL 092-643-3806
- FAX 092-643-3825
- E-mail gchosa2@pref.fukuoka.lg.jp

※「ふくおか県議会だより」は新聞折り込みでお届けするほか、県の総合庁舎や各地区の県民情報コーナー、県立美術館、県立図書館、クローバープラザ、市町村の窓口、県内ローソン各店舗などにも置いてあります。

※「ふくおか県議会だより」は点字版およびデジ版(音声版)CDも発行しています。ご希望の方は、県議会事務局調査課へご連絡ください。

※次号(第40号)の発行は、令和3年8月上旬を予定しています。

6/4(金)から6月定例会が始まります!

日程は右のとおりです。傍聴・視聴の際の参考にしてください。

6月定例会のスケジュール(予定)

- 6月4日(金) 開会
- 6月10日(木) 代表質問
- 6月11日(金) 代表質問
- 6月14日(月) 一般質問
- 6月15日(火) 一般質問
- 6月16日(水) 一般質問
- 6月17日(木) 常任委員会
- 6月18日(金) 常任委員会
- 6月22日(火) 閉会

※定例会については、インターネット「福岡県議会中継」でご覧になれます。

本県議会の傍聴及び来庁に関する重要なお知らせについて

新型コロナウイルス感染症の予防及び感染拡大防止のため、本会議及び委員会等の傍聴につきましては、当面の間、自粛いただきますようお願いいたします。

ご不便をおかけいたしますが、ご理解、ご協力のほど、よろしく願いたします。

なお、本会議につきましては、インターネット中継及び録画配信(後日)でもご視聴いただけます。

また、見学等を含む不要不急の来庁につきましても、当面の間、自粛いただきますようお願いいたします。